



女性センター主催の絵手紙講習会をきっかけに、講習会終了後も続けようとして平成7年から始まったサークルです。現在会員は女性13名で、和気あいあいとした穏やかな雰囲気の中で活動しています。絵手紙は、はがきや和紙に青墨と呼ばれる墨を使い、描きたい題材を下書きをせず見たままを描き、

素直な気持ちを伝える
温かみのある絵手紙で
絵手紙「風のたより」

顔彩で色をつけたものに、誰かに伝えたい素直な気持ちを詩のような言葉で添えて完成させます。絵に描く題材は、身の回りにある物を持ち寄っているそうです。年に数回はバスで出かけ、市外の建物や植物などを見ながら作成する活動も他の絵手紙サークルと行い、交流の輪を広げているそうです。絵手紙の難しいところは、題材の特徴となる部分を捉えて、大まかな絵でもそれが何かがよくわかるように描く所だそうです。「未だにうまくできないです」と会員の方は言いますが、絵心がなくてうまく描けなくても、Eメールとは違い、自作の絵を添えることで個性が表れるそうです。また、添える言葉から元気づけられたり、より温かみのある手紙になるという魅力があり、「絵手紙には失敗は全くなくて成功になります」と教え

絵手紙
「風のたより」
代表 / 福原 桂子さん
☎32-9541
活動日 / 第2水曜日
13時～15時
活動場所 / 女性センター

作品紹介

～このサークルで作成しました～



西本 哲子さん

趣味を見つけないと思った時に絵手紙に興味を持ち、7年程前から参加しています。この絵は、庭先に咲いていたチューリップがとてもきれいで、春の訪れを感じ旅に出たいという気持ちを表現しました。



佐々木 順子さん

ふきのとうの絵は毎年描いていますが、中央のつぼみがとても難しいです。添えた言葉は、春のウキウキする季節に震災があり、普通に生活できていることへのありがたみを感じて表現しました。



青墨で描いた絵に顔彩で色をつけているところ

市民のひろば

ぼくのわたしの夢 とまこまいの子どもたちの夢

聞いてみました!



中村 太陽くん
(系井小学校6年)

「消防士になりたい」という中村君学校の授業で消防署を見学した時に火事が多いという話を聞き、一人でも多くの人を助けたいと思ったのが夢のきっかけになったようです。中村君は「消防服が格好いいし、消防車にも乗りたい」という男の子らしい憧れも持っていますが、「重い消防服とタンクも背負って火の中に入る事もあって大変そう」と言い、一年生から習っている空手を頑張って日々体を鍛えているそうです。以前、木登りができなかった時に練習を繰り返して、できるようになったという経験から「どんなことも不可能だと思わなければできないことはない」と何事も諦めずに努力する心を持つ中村君。その努力が実り、きつとたくさんの人を助ける頼もしい消防士になることでしょう。

小・中学生の皆さんの「夢」を200字程度に書いて、写真を添えて送ってください

消防士になりたい

今月の表紙



～緑ヶ丘公園まつり～

5月15日(日)金太郎の池周辺を会場に行われた第38回緑ヶ丘公園まつりの出店での様子。天気に恵まれて大勢の家族連れが訪れ、たくさんの催し物で大盛況でした。

タウンスケッチ

～まちの出来事～



「簡単なコードを奏でよう やさしいウクレレ講座」

軽やかな音色が魅力のハワイの楽器ウクレレを楽しく弾いてみよう」と、5月9日(月)からアイビー・プラザで「やさしいウクレレ講座」

が開講しました。初日はウクレレの持ち方の指導と基本的なコードを弾く練習が行われ、指を一つ一つ確認しながら真剣な表情で練習していた参加者は、少しずつコツをつかみ優しい軽やかな音色を奏できるようにウクレレを楽しんでいました。



今年も熱戦がスタート 少年野球場オープン!



5月3日(火)少年野球場で球場開きとなる少年野球大会が開催されました。どのチームも駆けつけた大勢の父母から声援を受け、冬季練習の成果を発揮しようと、生き生きとした表情でグラウンドに立ちました。寒さを吹き飛ばすような元気な声を響かせ、力強いプレーで熱戦を展開しました。

穏やかな春の訪れを感じます 企画展「春のコレクション展」



4月23日(土)から博物館所蔵の絵画を展示する「春のコレクション展」が開催されました。版画を六曲一双の屏風仕立てで表現した能登正智の「萌志理神威列像」や遠藤ミマンの「鳥と妖精」など、見る人に春を思わせる温かな作品約20点が展示されています。企画展は6月5日(日)まで開催。